

近畿大学、京都大学と共催で「研究炉スクール」を実施しました

7月22日から8月2日にかけて、国際原子力機関（IAEA）の協力の下、近畿大学、京都大学およびエネ研の共催で「研究炉スクール」を実施しました。

このスクールは、主にアジア太平洋地域の若手研究者・技術者を対象として、原子力分野での能力強化や原子炉の運転に関する実践的な研修を提供することを目的としています。

研修では、大飯原子力発電所、高速増殖炉「もんじゅ」等の施設を見学し、原子力関連の様々な施設が立地する福井県の状況について学ぶとともに、近畿大学および京都大学が保有する研究用原子炉を活用し、原子炉運転の実習など、現場での実習を行いました。

研修生は、「本国には運転研修に使えるような低出力の炉がないため、今回の研修で実際の原子炉の挙動を直に感じることができ、大変有意義だった」と感想を述べていました。



国際原子力人材育成センターでの講義



藤島高校の生徒がエネ研の分析機器等を利用して実験しました

SSH[※]（Super Science High school）指定校である福井県立藤島高校の2年生34名が、令和元年7月9日にエネ研の研究員の指導の下、各自の選択したテーマについて専門性の高い分析機器等を利用した科学実験や分析・観察等を行いました。

実験後には、ホールにて生徒同士による結果発表を行いました。発表がうまく聴講者に伝わるように工夫したり、活発な質疑応答を交したりして、科学に大いに興味を持つ体験となりました。

テーマ	講師（エネ研）
環境水等に含まれる微量金属分析	遠藤研究員
プログラミングと近似計算の基礎	西尾研究員
電子顕微鏡によるマイクロ組織の観察	安永研究員
アルデヒド脱水素酵素の遺伝子型判定	田中研究員
β線とγ線の吸収曲線の測定（放射線と物質の相互作用）	栗田研究員
金属の蒸発と薄膜生成実験	石神研究員
放射線による細胞内のDNA損傷の検出	前田研究員



金属の蒸発実験



電子顕微鏡での観察



実験結果発表の様子

※SSH・・・文部科学省が指定。指定校は、科学技術系人材の育成を目的に、大学や研究機関等と連携し、学習指導要領によらない発展的な内容を学んでいます。

科学機器を使いませんか！

エネ研には 50 種類以上の高度な科学機器が設置されており、低料金でご利用いただけます。

また、操作方法の相談やサポートも行っています。これらの科学機器を活用し、研究開発・品質管理における様々な技術的課題、トラブル等の解決にお役立てください。

【主な科学機器】



走査型電子顕微鏡装置
(SEM)



誘導結合高周波プラズマ
質量分析装置 (ICP-MS)

技術相談の例

【分析】

- ・めっき膜異物分析
- ・セラミック部品品質検査
- ・モーター部品異臭調査
- ・電子部品の異物分析
- ・I C 電極表面不具合調査
- ・繊維への金属含浸評価
- ・ゴムの表面調査

【科学処理】

- ・高分子有機化合物の紫外線・オゾン分解処理

【材料改質】

- ・水素電池電極用チタンの表面改質
- ・マグネシウムの表面改質

〈お問合せ〉

企画支援広報部

Tel:0770-24-7273

E-Mail:kikakushien@werc.co.jp

技術相談室をご利用ください

エネ研では、福井県内の企業の皆様からの技術相談に対応するため、企画支援広報部に技術相談室を設置しています。

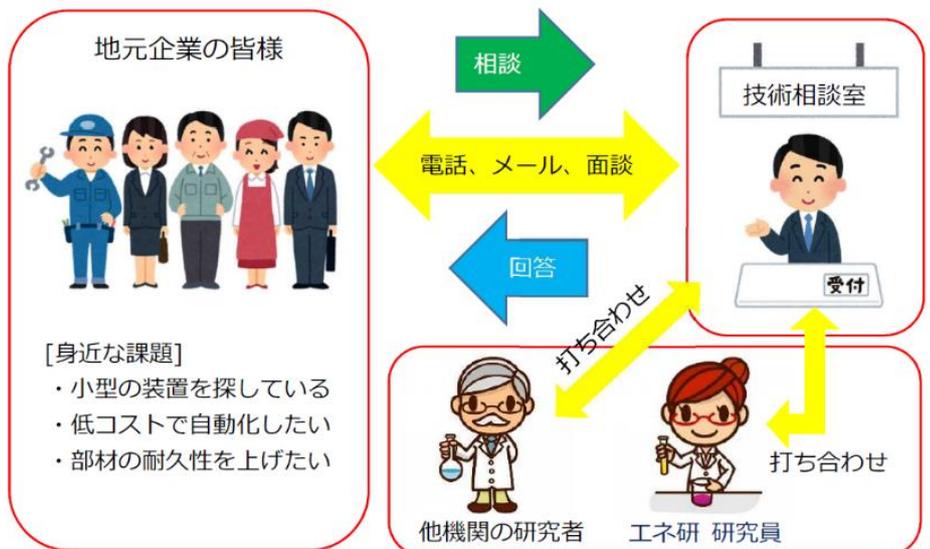
技術活用コーディネータが中心となり、技術情報、新製品・新技術の開発、試験・分析や補助金・助成金などに関するご質問・ご相談に対応しておりますのでお気軽にご連絡ください。

〈お問合せ〉

技術相談室

TEL: 0770-24-7273

E-mail:soudan@werc.or.jp



本誌を読まれてのご感想、ご意見を下記担当あてお寄せください。また、エネ研では、福井県内の企業を訪問し、研究ニーズとシーズのマッチングを行っております。訪問をご希望の方も、下記担当までどうぞ。賛助会員にご興味のある方も、下記担当まで。

郵便：〒914-0192 福井県敦賀市長谷 64-52-1

公益財団法人若狭湾エネルギー研究センター エネ研ニュース担当 あて

E-mail : kikakushien@werc.or.jp TEL : 0770-24-7270 FAX : 0770-24-7275

